

KAZEメンバーと カワサキをつなぐ店

第2回

株式会社宇都宮メグロ

代表取締役

閻澤光男

その名の通り、メグロの血統を継承するカワサキの専門店である。その伝統と確かな技術は「桟木でメグロを知らないバイク乗りはいない」と言われるほど。カワサキのエキスパートとして250から海外モデルに至るまで幅広く販売し、これまでに入会したKAZEメンバーはもはや数えきれないという。若く新しい人にもっとバイクに乗ってほしいという33年間、開業社長に話を聞いた。

「これはうれしいですね。確かに最近はおのれのお客様もまた増加しましたよ。ただ、ちがいがある気になりますのは新しいユーザー少ないところです」と。さすがに大型データーベースでいうと、いままでの「昔、バイブルで読んだ人が今スケーリングして乗りたい」という「レトロゲーム」を見に来る、いわゆるリターニューゲーマーですね。ウチにはそんなお客様が多く見られます。でも、本当にビギナーの方にやめられると困りますし、今のリターニューゲーマーたちが「昔、そうだったみたいで、今の若い世代が、もっとバーチャルな楽しさを手にほしいのです」という意味では、(シャーワードの中の)「もうない時代」だと感じますね」

「その意味では今年、
対に欲しいですね」

齡の上昇とバイク文化が進んでいますね。欲しいバイク乗った40歳が少ないことが根柢にあると思いますが、それにしてもやはり若い人が増えないダメな時代です。カワサキの大型ユーティリティーは80年代のレフリックバイクを継続しながらも、時代の流れからバイクの进化計画で、10代から20代の若手にバイク文化を広めようと努力してきました。それが今、またバイク文化に戻ってきてています。でも、最近の若い人はまっている限り、バイクの本当の楽しさを知らないと思うんです。そんな人に10年後、20年後にはまたバイクに戻ってくるかを考えると、疑問ですね。危機感さえ覚えますよ。だから私としては、新しいバイク文化で新しいカワサキファンを作りたい。国内で

お客様の傾向に
変化はありますか?

こちらのお店では
ツーリングも盛んでしたね

カツサキリサブハヘドのハヘンガモレヒルカヘ
KANEメンビーニサルのサクサスル

まだまだ商売の環境は
厳しいと思いますが?

「私は大好きな人間です。それがモードオーバーのモチベーションであります。」数年は参加者の数に大きな増減はありませんが、「一般的な傾向として、3人ぐらいの気の合った仲間同士で走る人が多いですね。昔の「チーム」や「クラブ」単位で走ることは減少しているのでしょうか? それがいいのか悪いのかわかりませんが、そんな風潮は確かに感じます。知らない人へ会いに来るのは確実に感じます。」



宇都宮メグロ
栃木県宇都宮市茂原2-5-24
☎028-655-5005

KANEのいい点はどうぞ?

「4メーターの中で唯一活動を続いている」
デザークラブですからね。その存在 자체に意義があります。それに言つてみればKAZEはカワサキのブランドでもあるわけですね?